

畜産センターが開発した自動式車両消毒装置の設置

当センターでは、開発した自動式車両消毒装置の普及を進めており、第一号を京丹後市の食鳥処理場に設置しました。

本装置は、車両側面だけでなく底面の入り組んだ部分まで自動で消毒ができ、かつ、低コストで容易に組立・設置できるのが特徴です。

当該処理場では、市販の自動車両消毒装置が非常に高価なため設置できず、動力噴霧器により入場車のドライバー自らが手動で消毒を行っていましたが、当センターの本装置を見て設置することになりました。

今回の設置では、当該処理場の用途、道路幅等の条件に合わせて車両全体を消毒できる独自設計を行いました。

今後は、BSE検査等で農家の車両の出入りが多い南丹家畜保健衛生所に設置するとともに、PR用チラシを農家に配布し、普及に努めていきます。



当センターによる設置工事の様子



設置装置による大型車両消毒の様子